

# 「いよいよ始まった社会構造改革への議論」

この秋の人事で党の政調会長補佐に任命されてから、働き方改革推進特命委員会の事務局次長を始め、2020年以降の財政再建小委員会委員や中小企業・小規模事業者政策調査会の小委員会を事務局長として立ち上げる等、労政局次長、国際局次長、一億総活躍推進本部事務局次長、新聞出版局次長等を含めて、10を超える職務を与えられ、多忙な一年が幕を開けました。政権内政の最大の課題に中核的に関与することとなって、仕事の意味の大きさと、責任の重さに身が引き締まる思いです。これから行われる議論は、現代日本の最も大きな社会構造の転換に向けた議論です。拙著「政治主導で挑む労働の構造改革」で書いた提言を、まさに形にしてゆくチャンスが到来したのだと身震いする思いです。

改めて政治とは一人では何も出来ない、チームプレーなのだと感じています。女性活躍推進、子育て支援、財政再建、税と社会保障の一体改革など、様々な分野で活躍してきた我が党の国会議員方が集結して、これまで変えられないうと思われてきた改革を本気で実現する為に、重厚な体制で事に臨もうとしています。この2年で官僚の言うことも随分変わってきました。彼らも、分かっているつもりでも変えられない、と本気の体制を見て、変えられるかもしれない、本気で議論してもいいかも知れないと、厚いベールを脱ぎ始めています。彼らがテコでも譲らなかったスタンスが変わってきているのを感じて、驚きと喜びと感動を感じると共に、だからこそこの改革は絶対に失敗してはならないのだという圧倒的な重圧を感じずにはいられません。

この国は、少子高齢化と人口減少による社会保障費の激増で潰れかけています。国が潰れるとは、国債と通貨が紙屑になるということです。それはバブル崩壊以上の威力で、私達の財産を消滅させ、制度と生活をズタズタに破壊します。私達はまた、焼け野原から再起を目指さなくてはならなくなりますし、国際的な信用も地位も失ってしまいます。なんとか国を潰さずに、苦しくとも、過去の十字架を背負いながら、新しい時代に対応した社会へ脱皮しなくてはなりません。その為には、それ相応の痛みを伴わずに脱皮する事は不可能です。それでも国が潰れる痛み

に比べれば随分軽いもので、痛みを嫌って脱皮出来なければ、もはや日本人は地獄を見ずには自己変革出来ない民族であり国民であると思ひ知り、また世界にそれを喧伝する事になるでしょう。そんな恥ずべき歴史を刻みたくはありません。

働き方改革に於いて、私がやっていきたいことは、①週と1日当たりの総労働時間規制による長時間労働の解消、②非正規雇用と正規雇用の賃金体系の接続による賃金格差の是正、③職種別最低賃金制度による不人気職種の人材確保、④全ての働く人への被用者保険の適用による低所得者の負担軽減と生活保護転落回避、⑤共働きと片働きの税制と社会保障制度上の不公平

の是正、⑥留学を通じた若年外国人労働力の拡大、⑦教育機関の産業人材供給

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください!お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会  
事務所



〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

給責任の明示による若年人材供給と転職への学び直しの充実、⑧人材派遣業を活用してトライアル雇用等を通じたスムーズな転職支援による人材ミスマッチの解消、⑨請負契約や下請け先等の雇用の外にある契約先の賃金水準や労働時間規制の確保責任を発注元に負わす事による契約弱者の就労環境の確保、です。今回の議論でどこまで出来るかわかりませんが、出来るだけ経済社会に混乱をきたさぬよう充分に配慮した上で、その端緒でも是非実現したいと思っています。

経営者にとって、とりわけ外食企業にとって、これまででない厳しい労務管理を迫られる改革も含まれています。外食企業経営者の私にとって、自らの首を絞めるような改革を提言してきました。しかし、世の中は全て繋がっています。何処かの都合で歪められ

たことは、別のところで悪しき影響を生み出します。世の中全体の流れをうまくいかせる為には、その歪みを正さなければ直りません。その歪みの一つが私の業界でもあったのです。それは仕方ありません。正さねばならないのです。私が、拙著「政治主導で挑む労働の構造改革」を書いた時も上梓した時も、どんなお叱りをご同業からいただくだろうかと正直怖かったです。今でも怖いですが、本人の為にどうしてもやらねばならない改革だという事実が変えられない以上、この身がどうなるかもやらねばならぬとの思いで出版しました。今はそれを本場に形にする時がやってきました。

経営者の皆さんに申し上げます。おきたい事があります。これらの改革で世の中は変化します。経営環境も変わります。変化に対応

する難しさ、苦しさはお察しします。私自身も何度も味わってきました。しかし、全ての会社に皆同じ新しい条件が与えられるのです。特定の業界や会社に対してのみ与えられる厳しさではありません。そもそも我々経営者は、既に様々な条件を与えられ、その同じ土俵の上で凌ぎを削っています。皆同じ条件です。皆同じ土俵です。新しい土俵でまたしっかり相撲をとっていきましょう。ありませんか。私もその一人です。これからの改革は、私自身が自分で背負う事にもなる改革ですから、当然その実感を込めて、皆さんへのシヨックが出来るだけ大きくならないように進めて参ります。責任を持って進めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会  
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net